

## 課題

前川國男邸を通して学ぶ  
建築設計の基礎

建築学部建築学科 建築デザイン基礎2

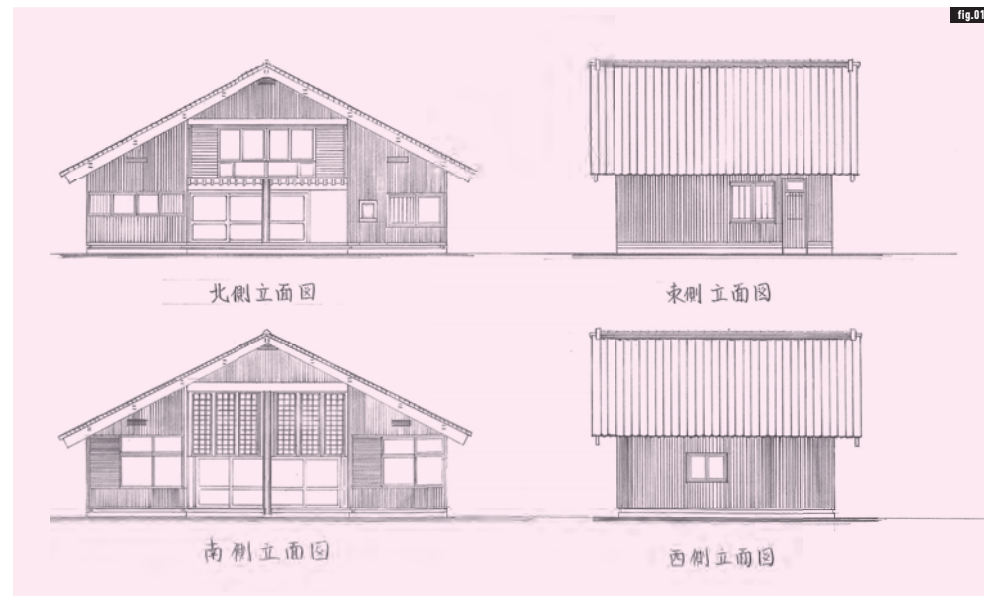
課題担当 南一誠

非常勤講師 三浦清史/渡邊隆/宮越喜彦

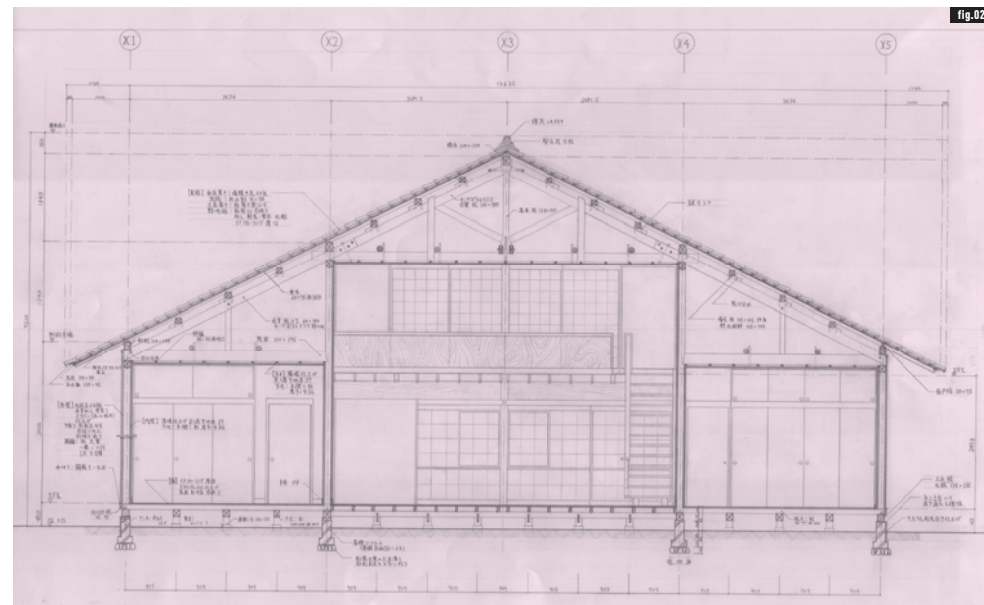
TA 西田倫正/信原拓弥/劉瀟陽/馬凌翔/中嶋優太

建築の設計は、意匠、構造、設備が分業化され、また、実際につくる(施工)するのは別の組織で、それが専門職種毎に細かく分業化されているのが特徴であり、これら多くの組織間の意思疎通は図面によりなされるのが基本である。共通言語とも言える図面のルールや表現方法を正しく理解していることは目的とする建築を実現するうえで、重要である。本演習は、住宅規模の建築を題材に、基本となる配置、平面、立面、断面などの一般図から始め、構造計画や仕上計画を理解し、矩計図まで一連の建築図書を作成する。設計意図を適切に表現するための製図法の基本を学ぶだけでなく、その製図を通して建築家が目指した建築の理念や目標について考察することを目的とした演習課題である。

## 前川國男邸立面図 | Kunio Maekawa Residence, Elevation | 羽生田英介 | Eisuke Hanyuda



## 前川國男邸短計図 | Kunio Maekawa Residence, Sectional Detail Drawing | 大川真吾 | Shingo Okawa

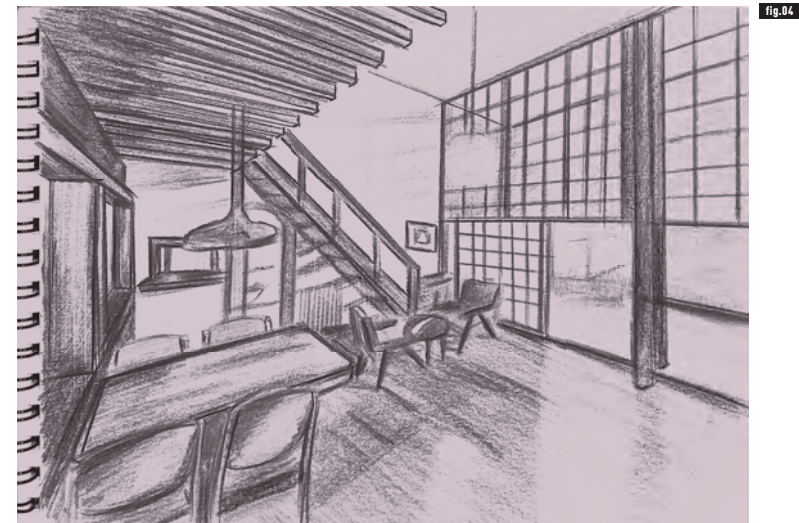


## 前川國男邸模型 | Kunio Maekawa Residence, Model

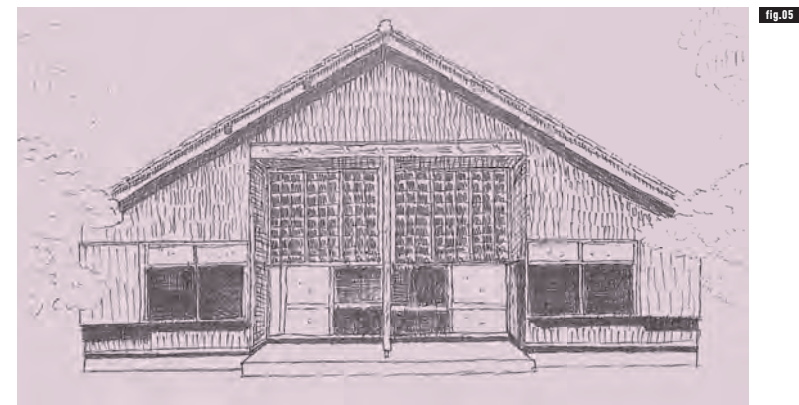
山際朝香/矢萩杏依/成田杏花 | Asaka Yamagiwa / Ai Yahagi / Kyoka Narita



## 前川國男邸内観スケッチ | Kunio Maekawa Residence, Interior Perspective Drawing | 楊頌南 | Yang Songnan



## 前川國男邸外観スケッチ | Kunio Maekawa Residence, Exterior Drawing | 滝本亮祐 | Ryosuke Takimoto



**講評** | この演習は、建築製図の基本を学ぶと同時に、前川國男邸の図面や前川國男と仕事を共にした中田準一氏の特別講義を通して建築設計の理念を学ぶことを目的としている。江戸東京たてももの園に移築されている前川國男邸他を見学し、スケッチを行い、模型も製作する。配置図、平面、断面、立面、部分詳細図(枠回り)、平面詳細図、矩計の意匠図を描く。その他にハブラーケンMIT名誉教授が開発した「断面のスタディ」の演習を行い、多様な空間を設計する手法を習得する。

課題  
[前川国男邸を通して学ぶ  
建築設計の基礎]

Architectural Design learned based on the architectural drawings of Architect Kunio Maekawa residence

建築学部建築学科 SAコース  
建築デザイン基礎2

SA Course, School of Architecture  
Exercise in Basic Architectural Design 2

建築の生産は多くの組織間の意思疎通によって実現される。その共通言語と図面の表現方法を正しく理解することは、目的とする建築を実現するうえで重要である。本演習は、住宅規模の建築を題材に、基本となる配置、平面、立面、断面などの一般図から始め、構造計画や仕上計画を理解し、矩計図まで一連の建築図書を作成する。設計意図を適切に表現するための製図法の基本を学ぶだけでなく、その製図を通して建築家が目指した建築の理念や目標について考察することを目的とした演習課題である。

Exercise in Basic Architectural Design 2

課題担当 南一誠 Kazunobu Minami

非常勤講師 渡邊隆/宮越喜彦/福井潔 Takashi Watanabe, Yoshihiko Miyakoshi, Kiyoshi Fukui

前川国男邸模型 | Model of Kunio Maekawa Residence

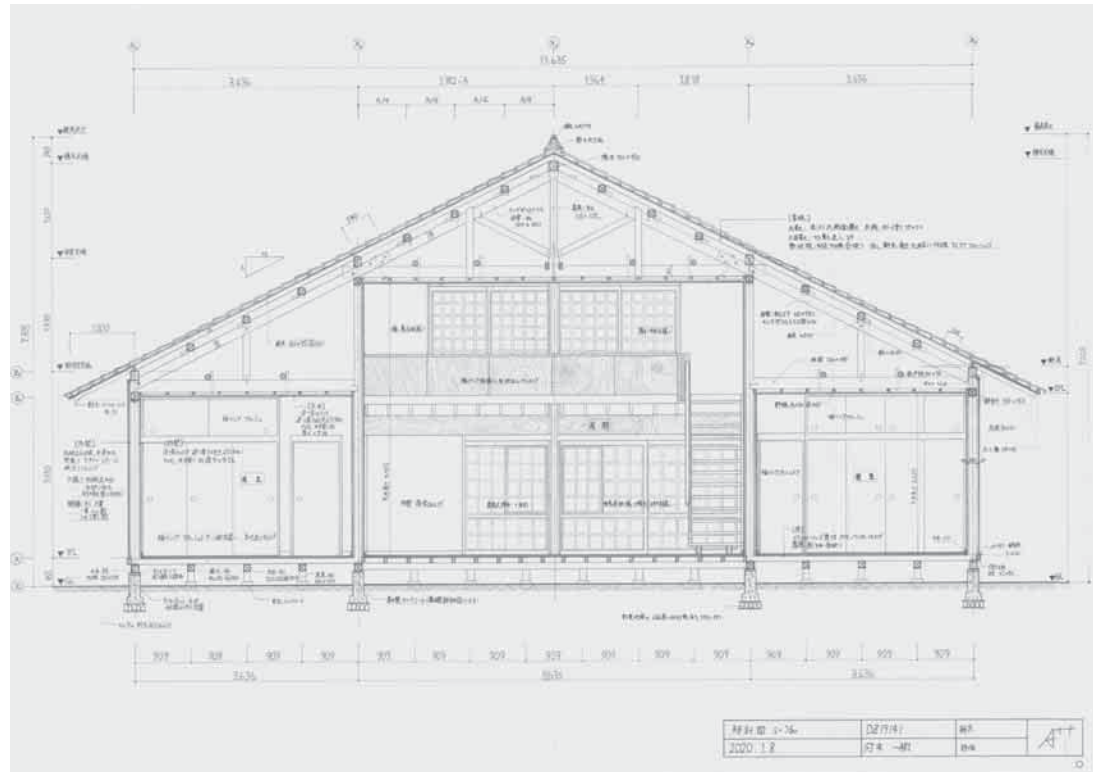
川村寛樹、穴戸和馬、高橋龍平、内藤泰成 [模型製作] /  
井筒悠斗 [スケッチ1,2枚目] / 山本純也 [スケッチ3,4枚目] /  
河本一樹 [矩計図]

Hiroki Kawamura, Kazuma Shishido, Tappei Takahashi, Taisei Naito (Model) / Yuto Izutsu (Sketches Top two) / Junya Yamamoto (Sketches Bottom two) / Kazuki Kawamoto (Sectional detail)

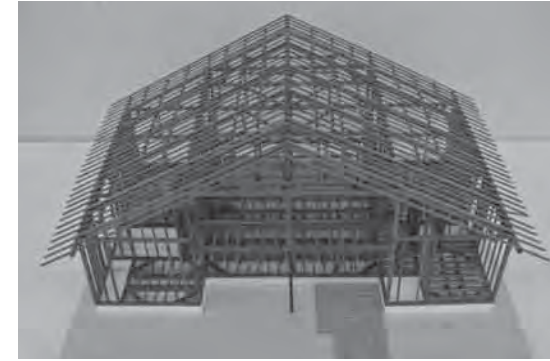


江戸東京たてもの園に移築されている前川国男邸他を見学し、スケッチを行い、模型を製作した。配置図、平面、断面、立面、部分詳細図(枠回り)、平面詳細図、矩計の意匠図を描くことにより、建築家、前川国男の建築に対する考え方を学んでいる。建築製図の基礎も修得した。

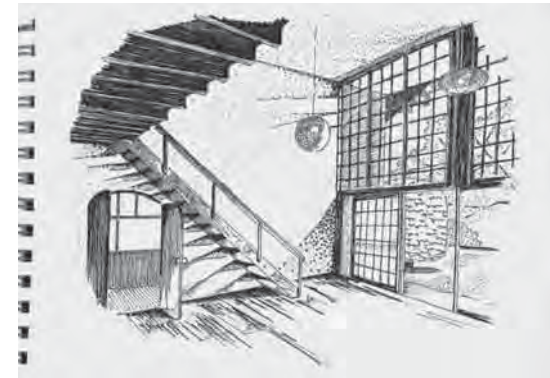
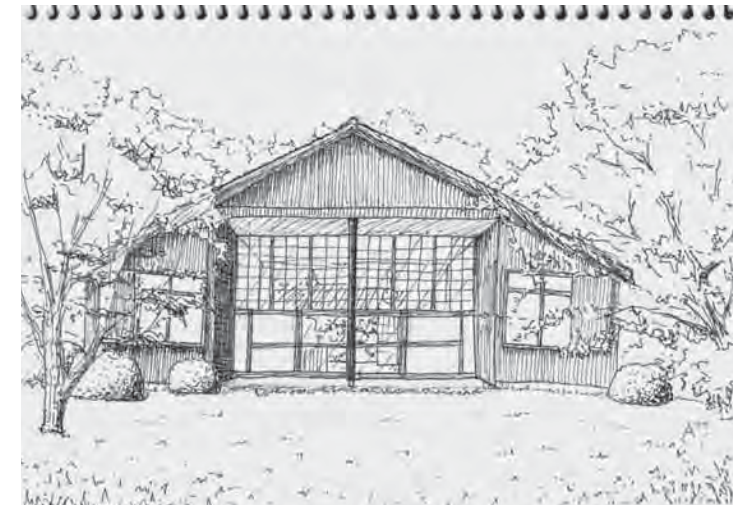
矩計図 | Sectional detail



模型 | Model



スケッチ | Sketch



講評 | この演習は、建築製図の基本を学ぶと同時に、前川国男邸の図面や前川国男と仕事を共にした中田準一氏の特別講義を通して建築設計の理念を学ぶことを目的としている。江戸東京たてもの園に移築されている前川国男邸他を見学し、スケッチを行い、模型も製作する。配置図、平面、断面、立面、部分詳細図(枠回り)、平面詳細図、矩計の意匠図を描く。その他にハプラーケンMIT名誉教授が開発した「断面のスタディ」の演習を行い、多様な空間を設計する手法を習得する。[南一誠]

## 課題 [前川國男邸を通して学ぶ 建築設計の基礎]

Architectural Design learned based on the architectural drawings of Architect Kunio Maekawa residence

建築学部建築学科SAコース  
建築デザイン基礎2/後期

SA Course, School of Architecture  
Exercise in Basic Architectural Design 2 / 2nd Semester

建築の生産は多くの組織間の意思疎通によって実現される。その共通言語と図面の表現方法を正しく理解することは、目的とする建築を実現するうえで重要である。本演習は、住宅規模の建築を題材に、基本となる配置、平面、立面、断面などの一般図から始め、構造計画や仕上計画を理解し、矩計図まで一連の建築図書を作成する。設計意図を適切に表現するための製図法の基本を学ぶだけでなく、その製図を通して建築家が目指した建築の理念や目標について考察することを目的とした演習課題である。

Architectural production is realized through communication among many organizations. It is important to understand the common language and the correct way of representation in drawings in order to realize the desired architecture. In this exercise, we will use a residential building as the subject matter, starting with the basic general drawings such as layout, plan, elevation, and cross-section, understanding the structural plan and finish plan, and creating a series of architectural documents up to the rectangular drawing. The purpose of this exercise is not only to learn the basics of drafting in order to express design intentions appropriately, but also to consider the architectural philosophy and goals that the architects aimed for through the drafting.

課題担当 南一誠 Kazunobu Minami  
非常勤講師 小飯塚周也/福井潔/宮越喜彦  
Shuya Koizuka, Kiyoshi Fukui, Yoshihiko Miyakoshi

2020年度は新型コロナウイルス感染防止のためオンラインでの授業となった。江戸東京たてもの園は一般公開されなくなったが、たてもの園の配慮により、教員が前川國男邸の写真と動画を撮影して学生に見てもらうことになった。授業の内容は例年通りであるが、製図した図面をシェアフォルダーにアップして、それを教員がダウンロードして採点し、オンラインで講評することには多くの時間を要した。毎年行っている小空間の設計、断面のスタディの他に、最小限住宅を新たな課題として取り入れ、オンライン事業の単調さを少しでも緩和する工夫を行った。



fig.01 上左|前川國男邸 南立面 fig.02 上右|前川國男邸 北立面 fig.03 下左|内部 ホール、階段廻り fig.04 下右|内部 ホール、2階から見た居間

**講評** この演習は、建築製図の基本を学ぶと同時に、前川國男邸の図面や前川國男の仕事を通して、建築設計の基本となる考え方を学ぶことを目的としている。配置、平面、断面、立面、部分詳細(枠廻り)、平面詳細、矩計といった建築設計図の基本となる意匠図を一式描く。その他に、小空間の設計、最小限住宅の設計や、断面を連続的に展開して豊かな空間を設計する即日設計を行い、多様で豊かな空間を設計するために必要な基本的手法を習得する。[南一誠]

私は今回の課題において、図面に書き込む情報を一つ一つ理解しながら、丁寧に製図を進めることを心がけました。課題に取り組む上で難しかった点は、ある線が何を表しているのかを理解しながら製図を進めることです。メリハリのある見やすい図面を描くには、線の意味を理解し、その重要度に応じて太さを変えることが大切だと学んだので、その点には特に注意をして図面を描きました。

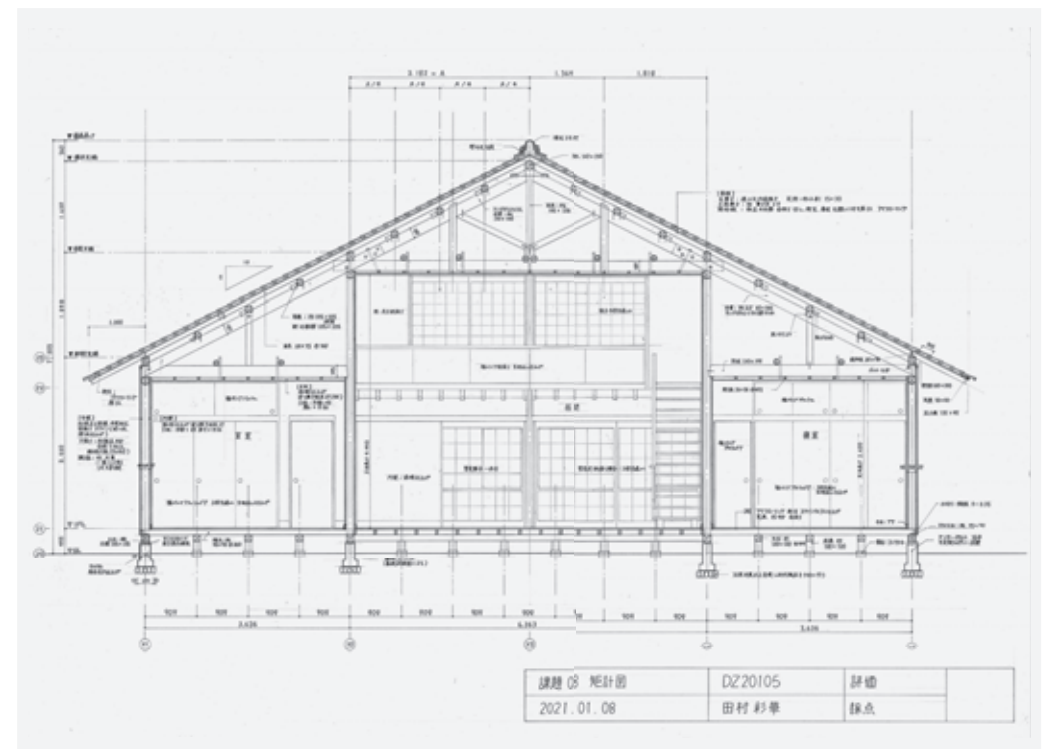
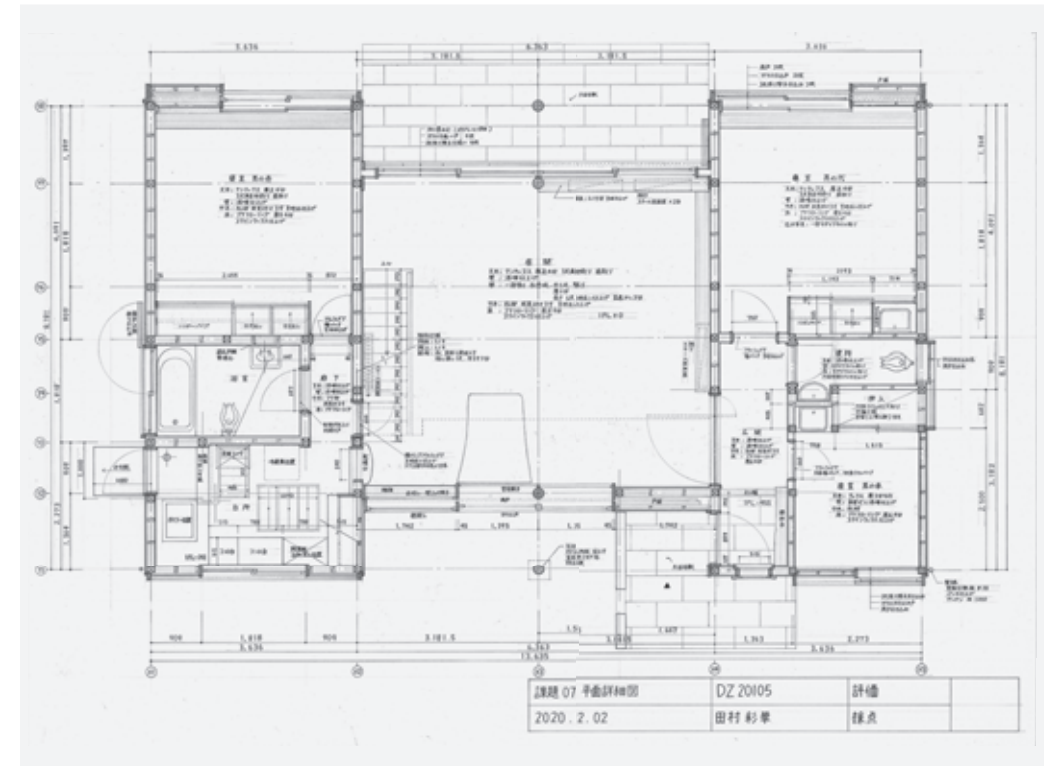


fig.01 上|前川國男邸 平面詳細図 fig.02 下|前川國男邸 矩計図